

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	9,657,887,021	9,504,934,481	152,952,540
国民健康保険(事業勘定)	2,577,694,682	2,487,998,033	89,696,649
国民健康保険(診療施設勘定)	140,132,361	140,131,960	401
介護保険事業	1,763,190,123	1,746,845,501	16,344,622
農業集落排水事業	41,176,575	40,807,262	369,313
漁業集落排水事業	23,504,046	23,178,672	325,374
特別養護老人ホーム静和園事業	430,458,024	427,157,995	3,300,029
後期高齢者医療	257,921,482	257,088,631	832,851
水道事業(収益的)	383,130,501	289,744,037	93,386,464
合計	15,275,094,815	14,917,886,572	357,208,243

こんな事業を実施しました

新庁舎建設事業

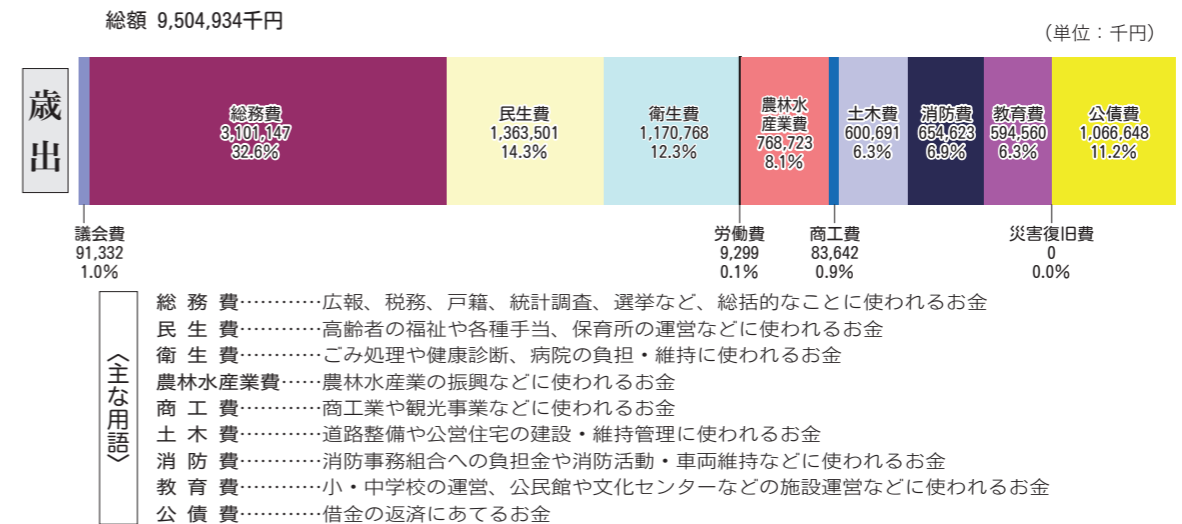
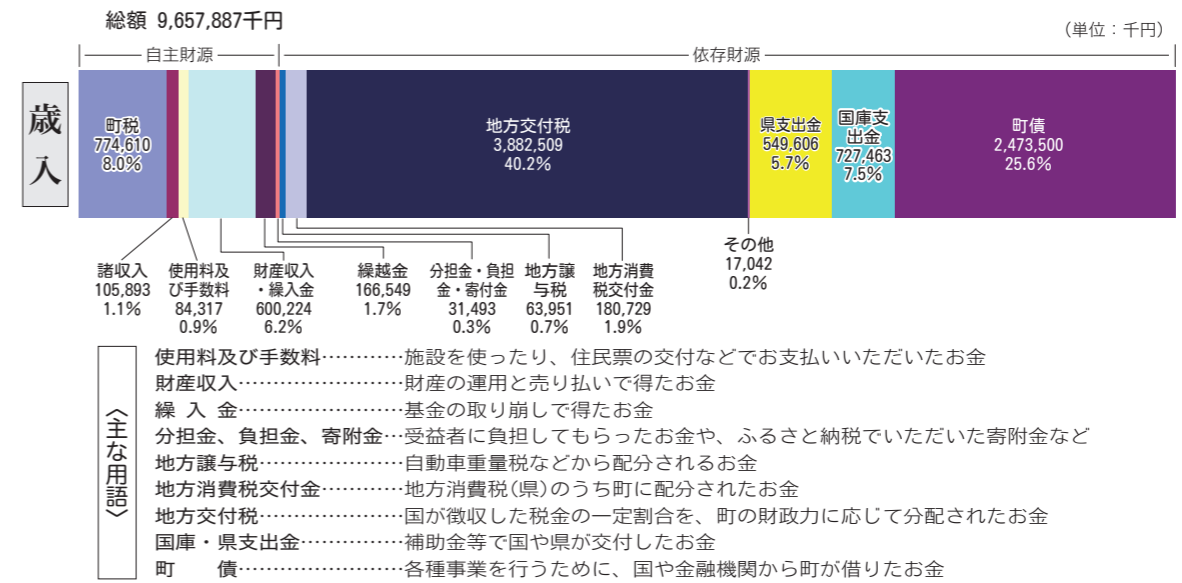
1,613,530千円



平成28年12月に新庁舎が完成し、平成29年1月より開庁、業務を開始しました。避難所として活用できるほか、1階でさまざまな手続きをワンストップで行うことができます。

1 一般会計の概要

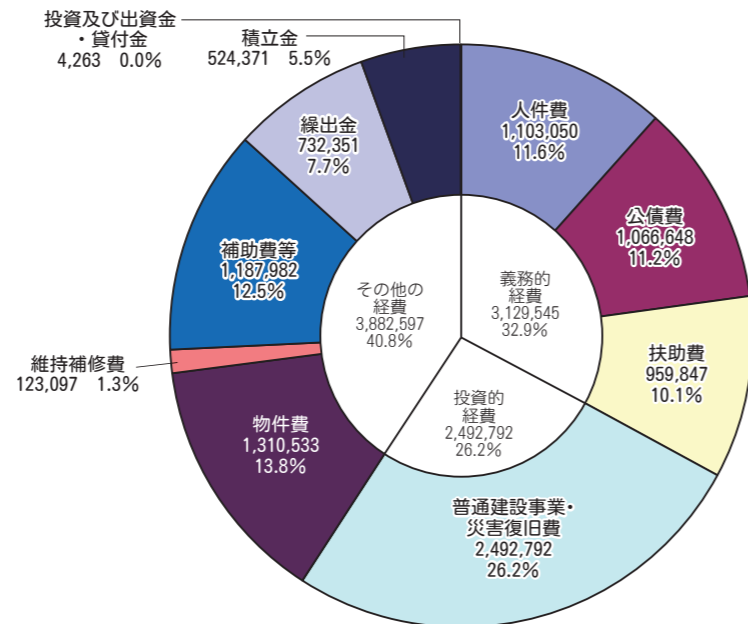
福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	平成27年度末	平成28年度末	比較増減
一般会計	11,268,490	12,777,526	1,509,036
国民健康保険	211,531	199,175	▲ 12,356
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	252,373	229,813	▲ 22,560
漁業集落排水事業	182,226	168,054	▲ 14,172
特別養護老人ホーム静和園事業	37,463	0	▲ 37,463
水道事業(企業債)	2,328,028	2,190,121	▲ 137,907
合計	14,280,111	15,564,689	1,284,578

北海道新幹線 開業対策事業

19,988千円



国の地方創生加速化交付金を活用し、津軽海峡交流圏の観光資源を活かした観光地域作り事業を五所川原市、今別町、青森県と協力して行いました。北海道新幹線の開業効果を最大限に獲得するために、ご当地じゃらんの作成、奥津軽いまべつ駅〜津軽中里駅間バス運行などを行いました。

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成26年度	—	—	12.6%	69.8%
平成27年度	—	—	10.6%	88.5%
平成28年度	—	—	9.2%	102.2%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

〈各指標の解説〉

実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。
 連結実質赤字比率……「一般会計」だけでなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般の会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。
 実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。
 将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きいと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいということになります。

入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります